

12月9日の本会議におきまして、予算常任委員会に付託を受けました議案第79号から議案第82号の4議案について、12月14日に開催した委員会の審査結果を報告します。

主な質疑は次のとおりです。

議案第79号令和4年度湖南省一般会計補正予算（第9号）について、債務負担行為として提案された地域活性化企業人事業の地域活性化企業人事業負担金2280万円の内容について質疑があり、この事業は地方公共団体が三大都市圏に所在する民間企業等の社員を一定期間受け入れ、そのノウハウや知見を生かしながら地域独自の魅力や価値の向上に繋がる業務に従事し、地域活性化を図るという取り組みで、特別交付税措置される。期間は令和5年度から令和7年度で、湖南省は、観光振興・観光誘客対策・DMO設立等と地域経済活性化・雇用対策・人材育成・企業誘致等2項目にエントリーし、どちらかに精通した企業人1名を採用したいと考えている。湖南省のシティプロモーションを行い、ふるさと納税の促進を図る目的としているとの答弁でした。

石部駅周辺整備事業4億5198万7000円について、その詳細に関する質疑では、社会資本整備総合交付金1億9100万円、県から約8000万円の補助金を予定しており、工事内容として、令和4年度は9月末に改札口の切り替えが行われ、現在南北自由通路にかかる工事を実施している。全体工事費18億円で、その内訳は、国費4億5000万円、県費8000万円、合併特例債6690万円などで、財源を確保しながら進めていきたいとの答弁でした。また、現在の合併特例債の残高についての質疑に対し、約3億円ですとの答弁でした。

道路維持補修事業7050万円の大幅な増額について、大きな工事があるのか、細かい工事の積み重ねでこれだけの金額になったのかの質疑では、7月の大雨で冠水被害も出ており、施設の適正維持という観点から、細かい対応を積み重ねたものです。もともと道路補修・修繕の費用が少ない。綺麗なまちにしていきたいとの答弁でした。交通安全対策665万円の内容に関する質疑に対し、防護柵の設置、路面標示など、8カ所ほどを計画しているとの答弁でした。

議案第80号令和4年度湖南省国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について、療育給付事業や高額医療費の保険給付費が増額となっている要因についての質疑では、様々な要因が絡み合って増加していると考えられるが、その要因の一つとして、被保険者の高齢化というのが一つの要因です。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、医療機関での受診が減ってきたが、今後医療費は増えていく傾向にあるとの答弁でした。

議案第81号令和4年度湖南省後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）に

についての質疑はありませんでした。

議案第82号令和4年度湖南省介護保険特別会計補正予算（第2号）について、令和4年度一般会計補正予算での人件費は大きく減額していたが、本特別会計での影響はとの質疑では、今回の補正予算では、会計年度任用職員1人分の人件費の科目の振り替えで、全体事業費の人件費の変更はありませんとの答弁でした。

以上が質疑の概要です。各議案とも質疑の後討論はなく、採決の結果、議案第79号から議案第82号の4議案については、全員賛成で原案どおり可決すべきものと決定しました。